

Kindle Unlimited 導入の検討

1. 特徴

月額払い。1つのアマゾンアカウント内で読み放題対象の電子辞書だけが読めて、ストック 10 冊まで

2. メリット

ラインナップが豊富。幅広いジャンルの書籍を読みたい人に向いている。様々な電子機器で活用が可能（iOS, iPhone, iPad, Android タブレットとスマートフォン、PC、Mac 版アプリ、Kindle 電子書籍リーダー・Fire）現物購入より、安価。キャンセルはアカウント内からクリックするだけ。Kindle タブレットはモノクロ画面なので、目に優しい（ブルーライトゼロ）。プライム会員で Kindle タブレットかからだと毎月 1 冊フリーで読める：【オーナーライブラリー】。Fire タブレットで読める（他のタブレットより安価）

3. デメリット：

他の読み放題サービスより高い。1つの Amazon アカウントで 1 サービスのためタブレット数とは関係なく、保護者各家庭、教員など各自にアカウントをつくる必要がある。読み放題対象の本とそうでない本がある。10 冊“レンタル”制なので、それ以上は返却が必要。トレンドの本がほとんどない。流行りや新作などがない。ランキングトップ 100 以内の本はほとんどない。ラインナップの変動が多い。

「Kindle Unlimited」と「Prime Reading」の違い

『Prime Reading』はプライム会員のみ利用可能で、追加料金はなし。蔵書数に違いがあり、『Kindle Unlimited』のほうが圧倒的に多い。違いは以下の通りであり、機能やアプリの使い方などは共通している。

	Kindle Unlimited	Prime Reading	Free Time Unlimited
月額料金（税込）	980 円	0 円※プライム 会員のみ	Amazon プライム会員 480 円+約 410 円（年会員の場合） =890 円 非会員 980 円
蔵書数	12 万冊（和書）120 万冊（洋書）	900 冊	子ども向け絵本・学習漫画・アプリ、ゲーム、ビデオ、 その他数 1,000 点の知育コンテンツが使い放題
	読みたい本・雑誌が決まっており、『Prime Reading』のラインナップには無い。月に何冊もの本を読むのであれば、簡単に元が取れる。本を乱読したり雑誌を斜め読みしたり、多数の本を見てまわりたい。	月に 1 冊読むかどうか怪しい。読まないこともあり定額制では損 興味のある本が限定的。いろんなジャンルをつまみ読みする必要はない	3～12 歳までの子ども対象。使用可能なタブレットが Kindle Fire HD のみ（iOS, Android, Win PC は不可）。 ペアレנטルコントロール（親が時間を管理できる。動画、アプリ、絵本などに有名な「しまじろう」「おかあさんといっしょ」「ちびまる子ちゃん」「ディズニー」などが出てくる。英語の児童書やビデオがある教育目標、時間制限などを管理できる。